

いこい通信

～家族と施設をつなぐ架橋～

2025年1月

冬号(季刊)

発行 特別養護老人ホームいこい



新年あけましておめでとうございます

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、1月1日の石川県能登半島の大地震に始まり、政治の裏金問題、円安・物価高騰。福祉では、介護保険と医療保険の同時改訂など変化の大きな年でした。また、当施設も開設10年の節目を迎え、大規模修繕やICT化など、少しでもご利用者様が過ごしやすい環境と職員が働きやすい環境を整えて参りました。

本年は、60年に1度の乙巳（きのと・み）の年です。非常に縁起の良い年で、「努力を重ね、物事を安定させていく」「成長と発展」の年と言われています。

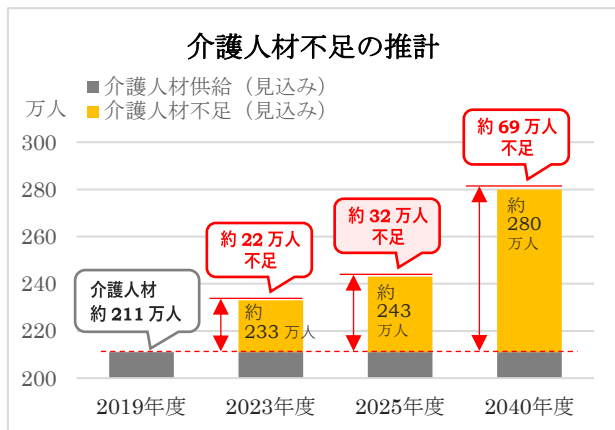
令和7年が実りの年となりますように、職員全員が一丸となって、様々な課題に取り組み、変化や挑戦を恐れず、笑顔あふれる施設の実現に向けて精一杯責務に邁進する覚悟でございます。

本年も変わらぬご愛顧のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

■「2025年問題」って、よく聞くけど何？

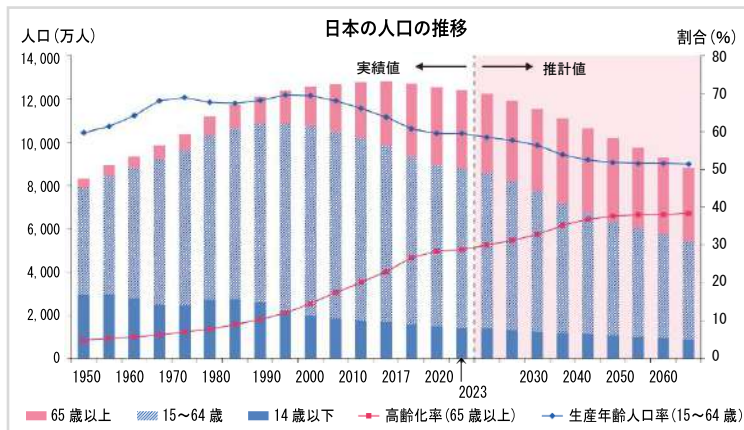
2025年問題とは、“団塊の世代（1947年～49年生まれ）”が全員75歳以上の後期高齢者となり全人口の約17.8%に達する年のことです。

医療費や介護費などの社会保障費に関する若い世代の負担増加による経済活動の縮小や、介護サービスの需要増加による約32万人の介護人材不足といった影響が懸念されています。



■「2040年問題」と何が違うの？

2040年問題は、“団塊ジュニア世代（1971年～74年生まれ）”が全員65歳以上となります。全人口が1億1千万人程になり、65歳以上の高齢者が35%以上、75歳以上の後期高齢者が20%以上に達すると予測されています。さらには、生産年齢人口（15～64歳）は53.9%まで低下し、2025年から約1,200万人減少する見込みです。



2025年問題は、高齢者人口の過渡期にあたるのに対し、2040年問題はそのピーク時であると言えます。この先、社会保障費の増大や生産年齢人口の減少により、益々負担が大きくなります。さらには、介護人材の不足により、ケアの質が低下や必要な支援が届かないなど、多くの影響が出てくる可能性があります。

これらの問題に対し、制度の効率化や新たな財源の確保、公平な負担の分担など、包括的な改革が求められます。

科学的介護推進体制加算（Ⅱ）の取得について

「科学的介護推進体制加算」は、令和 3 年度介護報酬改定で、科学的介護の理解と浸透を図る観点から科学的介護情報システム＝「LIFE」の運用開始とともに新設された加算の一つです。

利用者のデータを LIFE へ提出してフィードバックを受け、それらに基づき事業所の特性やケアの在り方等を検証し、利用者のケアプランや計画への反映、PDCA サイクルの推進とケアの質の向上の取り組みを行うことを目的としています。また、ICT 化の推進にも繋がり、業務の効率化も期待できます。

※2024（令和 6）年度介護報酬改定で変更がありました。

★ 当施設も次の通り、2025 年 1 月より「科学的介護推進体制加算Ⅱ」を取得させていただきます ★

取得開始	単位数
2025 年 1 月分から取得	利用者一人あたり、50 単位／月 ※1 割負担の方で、月 53 円程度の負担となります。
算定要件	
利用者ごとの ADL 値、栄養状態、口腔機能、認知症の状況、その他の入所者の心身の状況等の係る基本的な情報を厚生労働省に提出していること。（LIFE の活用） 必要に応じてサービス計画を見直すなど、サービスの提供に当たって、上記に規定する情報その他サービスを適切かつ有効に提供するために必要な情報を活用していること。（PDCA サイクルの運用）	

ご利用者様には、ご負担をお掛けいたしますが、何卒、ご理解賜われますようお願い申し上げます。

2025 年、介護職員の処遇を改善。一時金で 5.4 万円の補助金を支給？

昨年 12 月 17 日に参議院本会議で可決され、国の補正予算が成立しました。

政府は新たな総合経済対策として、介護職員の賃上げ、職場環境の改善に向けた補助金を支給するための財源として 806 億円を計上。常勤の介護職員 1 人あたり、およそ 5.4 万円の一時金を支給できる規模としました。

これで他産業との給与格差を縮小しつつ、人材の定着や離職の防止などにつなげたい考えだと説明しています。

しかし、他産業と約 7 万円/月の差がある中、一時金で 5.4 万円では、とうてい不十分としか言えないがありません。

さらには、政府が補助金の支給対象としたのは、令和 6 年度の介護報酬改定で拡充・一本化された処遇改善加算を取得している事業所・施設のみで、今回も居宅介護支援などは対象外とされました。



本当に 1 人 5.4 万円もらえるの？

補助金の使途は事業者の裁量に委ねられるため、多職種の賃上げや職場環境の改善などの経費に充てることも可能です。

このため、1 人あたりの一時金の額はさらに低くなることが予想され、事業所・施設ごとに異なることとなります。



今後は、一時金ではなく恒久的な賃上げの実現に向けた法案の成立に向けて活発な議論を交わして欲しいものです。

※ 処遇改善加算を取得するための「職場環境等要件」について、補助金を申請した事業所も満たした扱いとすることや、キャリアパス要件の一部を、2025 年度中に十分な対応をとるという誓約をすれば満たしたものとの方針を掲げ、猶予期間を 1 年間延長する形としました。また、厚労省は審議会で、都道府県などに提出する申請書類の更なる簡素化にも努めると説明しました。

2025 年 1 月に注意して欲しい感染症！

昨年から様々な感染症が流行しています。特に年末年始は、帰省や旅行等で人流が変わる時期ということもあり、どのような感染症に注意すればよいのか流行の傾向を見ていきたいと思います。

No1 新型コロナウイルス



2024 年第 45 週（11/11-17）を境に、全国的に患者報告数が増加し、定点あたりの報告数が第 51 週（12/16-22）には“5.48”となっています。1 月は、新型コロナウイルス感染症の患者報告数は、増加すると予測しています。新型コロナワクチン接種者が減っていることや**新型の変異株 XEC の検出割合が増加**していることもあり、冬の流行は、ある程度の規模になるのではないかと懸念しています。

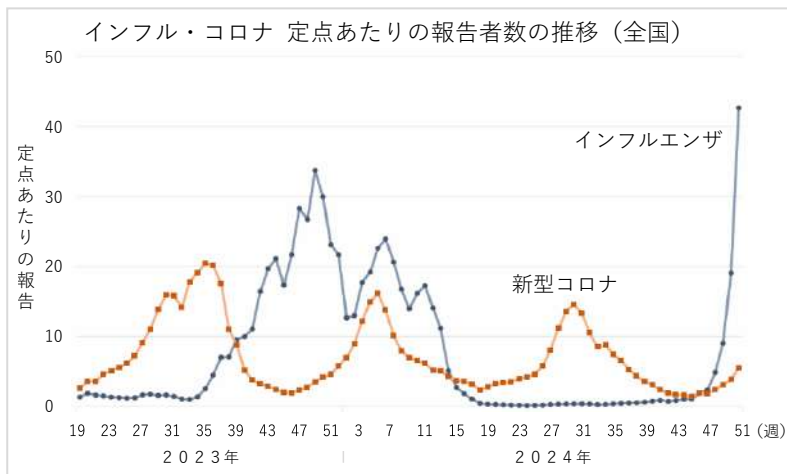
No2 インフルエンザ

インフルエンザの定点あたりの患者報告数は、第 48 週（11/25-12/1）に 4.86。翌 49 週（12/2-8）には 9.03。第 51 週（12/16-22）には“42.66”と大きく増加しました。※コロナ流行後で最大の流行。

インフルエンザ定点で 4 を超えた場合は、その後、急激に患者報告数が増加するケースが多いですが、今回もそのような傾向になっています。冬休み明けの動向を注意深く見たいと思います。



新型コロナについてですが、インフルエンザと同等、あるいはインパクトが低いかのように思われているふしがあるようですが、**高齢者の死亡率・重症化率は高く、後遺症発生率は、約 7%**で、明らかに違う認識を持つ必要があります。



No3 マイコプラズマ肺炎

2024 年は、マイコプラズマ肺炎の患者報告数が**過去最多を更新**しました。第 46 週（11/11-17）を境に減少していますが、依然として高水準にあるため、これからの動向に注視が必要です。

※別名「オリンピック病」と呼ばれ、4 年に一度オリンピック年に流行すると言われています。



No4 伝染性紅斑（りんご病）

全国的な流行には至っていませんが、東京・神奈川・千葉・埼玉など、関東地方を中心に流行の兆しを見えています。2020 年以来、患者の発生は殆どありませんでしたが、ここに来て各地で患者の発生が見られるようになりました。これから 1 年ほどかけて、ゆっくりと流行していくと予測されます。

※ 4～5 歳を中心に幼児、学童に好発する感染症です。 ※ 妊婦には、危険性のある感染症で注意が必要です。



昨年から引き続きインフルエンザや新型コロナの感染拡大が継続しています。今後さらに増加する傾向にあり、感染状況によっては「**陰圧テント内**」での**面会**をお願いする可能性がございます。

ご家族の皆様には、ご心配・ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



新年のお祝い



R7 元旦

お正月は2匹の獅子が舞いました！
頭や体の悪いところを噛んでもらって邪気払い！
神様からお年玉とおみくじをいただきました



神様と獅子舞



4年ぶりの秋まつり



天候にも恵まれて、
最高のお祭り日和!!



ご家族様にもお越しいただき
盛大に開催することができました



クリスマスは、「きんじろう
CAFE&GRILL」さん
に行ってきました☆

いこい大忘年会



飲んで 食べて
歌って
大盛り上がり!!

回転寿司



昨年は、できるだけイベントを
開催するようにしました。
今年もいっぱい楽しみたいと
思います🍀

行事食

お寿司



ケーキ パイキング



マグロ丼



職員研修

昨年入職した特定技能介護職員の研修風景です。
本当に真面目で、一生懸命業務に取り組んでいます。



排泄・移乗・食事・回診ケア



医療的ケア



日本語・認知症・虐待

社会福祉法人 憩 特別養護老人ホームいこい

〒250-0055 神奈川県小田原市久野 4406-1

Tel. 0465-43-8011 Fax. 0465-43-8023

Mail. info@i-koi.net



<https://i-koi.net>

